



# 三重電気会報

平成17年1月発行 第97号

新年あけまして  
おめでとうございます

本年もよろしく  
お願い申し上げます

賀正



雪の伊勢神宮宇治橋（伊勢市）

# 年頭所感



三重県電気工事業工業組合  
三重県電気工事協力会

理事長 楠 修次  
会長

新年あけましておめでと  
うございます。

皆様には、ご家族お揃いで  
新年をお迎える事とお慶  
び申し上げます。

さて、日本経済は、昨年  
からやや好転の兆しも見え  
てきましたが、ここにきて  
原油高・株価低迷など、ま  
だまだ先行き不透明感が私  
拭できない状況であると認  
識をしております。

このような状況の中、今  
後、私達は、我が電気工事  
業界を取り巻く環境の変化

を見極めながら研究と対策  
に努め、果敢に挑戦する強  
い姿勢が求められておりま  
す。

三重県工組は、新規収益  
事業として、昨年三月から  
一般用電気工作物の「調査  
業務」を実施しております。  
概ね、当初の予定通り推移  
しておりますが、進捗状況  
を常に把握し、更に役員・  
調査員ともども目標達成の  
ため努力してまいります。  
また、もう一つの収益事  
業として、第一種電気工事

進んでいる「お客様の立場

にたった提案型技術営業」  
のシステムを構築し、新た  
な需要の拡大を図らねばな  
らないと思っております。

去年は、「実践マニュアル」  
の講習会を開催し、積極的  
に取り組んでおりますが、  
できるだけ多くの皆様にご  
理解をいただき、参加、実  
践していただきたいと思います  
っております。

また、高度情報化社会の  
ニーズに対応出来るよう新  
技術の習得講習会や各種研  
修会を積極的に推進してま  
いります。

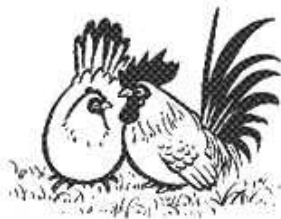
しかしながら、課題とし  
て、組合員(会員)の減少傾  
向、本年度はやや歩留まり  
しておりますが、依然とし  
て厳しい状況であります。  
新規加入も二件ありまし  
たが、更に加入促進を強力に  
すすめるなければならないと

取り組んでおります。

また、電気工事の承継・  
後継者の人材育成のための  
施策を積極的に進めてまい  
ります。

安全の面におきましては、  
三重県協力は、委託工  
事ゼロ災害が続いております。  
これを更に継続し、事  
故のない素晴らしい一年を  
送っていただきたいと思います  
ます。

最後に、会員皆様のご繁  
栄とご健勝を祈念致しまし  
て、新年のご挨拶と致しま  
す。



# 新年のご挨拶



中部電力株式会社  
取締役三重支店長

山本 豊

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで、素晴らしい年をお迎えになられたことと存じ、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、弊社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大規模な地震や例年のない相次ぐ台風の上陸など、度重なる災害により、全国各地で甚大な被害が発生いたしました。

とりわけ、九月二十八日から翌二十九日にかけて、三重県に接近した台風二十

一号は、記録的な大雨をもたらし、県内で多数の死傷者が発生させました。また、電力設備に対しても、変電所の冠水、土砂崩れによる電柱の倒壊、飛来物による配電線の断線などの影響を

及ぼし、当支店管内で約二万户が停電するなどお客さまに大変ご迷惑をおかけする事態となりました。

なお、停電の復旧作業につきましては、九月二十九日から十月二日までの四日間、最大で八一九名の非常災害動員の体制を敷いて対応にあたり、無事復旧を果たしました。復旧に際しまして、貴会のご好意により、

お客さま設備の点検を行うなど、お客さまに安心して電気を使用していただけるよう、適切な措置を講じることができましたことを改めて感謝申し上げます。

今後とも、安定した電力供給というお客さまの要望に、しっかりとお応えしていくことで、お客さまとの信頼の絆を深めてまいり存でおります。

次に、平素より皆さまに大変お世話になっております。オール電化住宅をはじめとした電化の普及拡大に関しまして、最近の動向をご紹介します。

当支店管内におけるオール電化住宅は、住宅着工件数が伸び悩む中でも順調に増加しており、今年度末には累計二万户に達すると見込まれます。また、平成十六年度につきましても、昨年十月時点で二千八百戸と対前年比で六〇パーセント以上の伸びとなり、住宅着

工件数に対する比率では、三二パーセントを占めるまでに成長しております。近年、オール電化住宅が急増している理由は、貴会をはじめ業界の皆さまの絶大なるご協力により、安全性、経済性、環境性などの点で、広くお客さまに受け入れていただけるようになったことや採用されたお客さまの満足度が非常に高いことが挙げられます。加えて、平成十四年に販売を始めたエコキュートがご好評をいただいていることも一因と分析しております。

私どもは、今後も、電化の普及拡大のため、オール電化住宅向けの料金メニューを、よりお安くご利用していただけるようリニューアルするなど、お客さまに喜んでいただけるサービスの充実に取り組んでまいります。

さて、皆さまもご承知のとおり、本年四月に高圧のお客さま全てに自由化範囲が拡大されます。当社は、これまで的確にかつきめ細かくお客さまのニーズにお応えできる体制を整えるとともに、低コスト体質を構築し、競争力のある料金価格を目指してまいりました。そして、本年一月一日に平均五・九四パーセントの料金引き下げを実施いたしました。

しかしながら、本格的な自由化到来で、電気事業は業種、業態の垣根を超えた競争時代に入り、激しい市場の争奪が予想されることろであり、当社を取り巻く経営環境は一層厳しさを増すこととなります。こうした中で、今後も高い競争力を維持していくため、引き続き全従業員が一丸となって経営効率化に取り組み、お客さまにご満足いただけるよう低廉で良質な電気

会員の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員は、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（4面へつづく）

(3面よりつづく)  
を安定的にお届けすることに努めてまいります。

また、厳しい市場を勝ち抜いていくためには、品質・価格による競争力の向上に加えて、企業としての倫理と社会的責任を果たし、企業価値を高めていくことが非常に重要であると認識しております。

このため、私どもは、これからも地域の皆さまの信頼を得てこそその電気事業であるとの原点を忘れず、これまで以上に公正公平に、日々の業務を遂行してまいりますので、引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新年を迎え、貴会ならびに会員の皆さまとご家族さまの一層のご発展とご多幸、そして安全を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 提案型技術営業「実践マニュアル」 講習会開催の報告

三重県電気工事業工業組合 青年部会長 川合 淳



講師説明

去る十一月二十二日、三重県電気工事業工業組合の主催で、「提案型技術営業『実践マニュアル』」の講習会を四日市電気会館で開催いたしました。昨今の不景気を背景に、親組合・青年部を合わせて総勢六十名余りの会員が三重県中から参集いたしました。講師は、今回の新潟県中越地震で被災された中をわざわざ我々のために駆けつけてくださった、新潟県電気組理事斉藤先輩（青年部OB・共立電気(株)常務取締役）です。

「提案型技術営業」とは、簡単に申し上げますと、「工

去る十一月二十二日、三重県電気工事業工業組合の主催で、「提案型技術営業『実践マニュアル』」の講習会を四日市電気会館で開催いたしました。昨今の不景気を背景に、親組合・青年部を合わせて総勢六十名余りの会員が三重県中から参集いたしました。講師は、今回の新潟県中越地震で被災された中をわざわざ我々のために駆けつけてくださった、新潟県電気組理事斉藤先輩（青年部OB・共立電気(株)常務取締役）です。

事案件を我々側から創り出し、受注を確保していく」ことであります。その姿勢であり、行動そのものを指しております。我々を取り巻く経営環境は、今、

1. 売上高の激減（箱モノ新築工事の減少による）
2. 受注競争の激化（工事件数の減少による）
3. 受注単価や利益率の減少

という過酷な環境の中で大変厳しい状況です。業界そのものが今つぶれようとしています。会員数も年々減少し、五年ほどで、一〇〇数十社の電気工事会社が脱退・閉鎖・倒産の憂き目に遭っております。我々はこのまま絶滅するのか、進化して、生き残るのかその瀬戸際に立たされております。その打開策のひとつが、この「提案型技術営業」であるわけです。

「提案型技術営業」を実践するに当たって、最も重要な「五つのキーワード」は、

1. 待ちの姿勢から、攻めの行動へ
2. 下請けから、元請へ
3. やりっぱなしから、生涯顧客の獲得へ
4. 建設業から、電気の特門家+サービス業へ
5. 単能工から、多能工へ（施行技術範囲の拡大）

しかし、成功している人、実際に行動している人は皆無に近いのではないのでしょうか？この講演会の中では、「提案型技術営業」を実行している方々が少数ながらおられることを知り、日本全国の事例を取り上げて、その成功例・実践例をひとつひとついねいに紹介していただきました。私の素直な感想は、「提案型技術営業」は、構えて行動することでもないし、なにも難しいこと・目新しいことではないのです。このことが逆に我々に非常に新鮮な感動を与えてくれました。

我々は今まで、「できな

(4面よりつづく)

「理由」や「やらない理由」を作り上げて、行動にうつすことを避けておりました。行動しない最大の「言い訳」は、

1. 当社は小さい零細企業である。
2. 親の代から守ってきたお客さんを守ってあげれば、それで食っていける。
3. 通信工事やLAN工事は通信工事事業社がやるものである。
4. ゼネコンや大手支店業者の下請けで十分である。
5. お客さんに話しかけることはどちらかというと苦手である。

など、など、言い出せばきりがない…。

さて、こんな「弱腰」で現状の厳しい経営を乗り越え、さらに、これからの厳しい時代を果たして生きていけるでしょうか？あるいは、我々が生き残っている電気工事業界に将来はあるのでしょうか？

講演会の中で紹介された

仲間達の成功事例を聞いて、

我々が今まで口にしてきた「言い訳」や「逃げ口上」がまったく説明力がないことを知りました。なぜなら、講演の中で実際に移行している全国の我々の仲間達は、平均十名足らずの小企業ばかりです(二十四時間メンテナンスを実施している、寺本電気さんは総勢五名です)。

我々の中で、ゼネコンや大手企業にしがみついている企業の経営が一段と厳しくなっているわけは、元請企業の利益減少分のほとんどが我々下請け業者に押し付けられ、転嫁されている



講習会風景

事実をご存知でしょうか

(大手やゼネコンはまだまだ自助努力が足りない、といえます)？だからこそ、我々が地元において、エンドユーザー直接取引あるいは元請企業やメーカーを下請けに使うくらい強くならないければならぬのです。

また、現在、電気工事士の試験を受けに来る四割は他の異業種(ゼネコン・管工事業・設備工事業)から受けに来ていることをご存知でしょうか(この異業種群は、近い将来、大きな市場となると予想されている、

【燃料電池】などの仕事を他業種の各企業は虎視眈々と狙い、着実に準備をしております)。もし、この分野での準備を我々電気工事業社が怠れば、水道屋さんやガス給湯機の工事の片手間に、各家庭の電気工事を我々から奪い取っていくでしょう。

今現在のまま何も手を打たないで、五年後、十年後、自分の会社が存在している

とは思えません。我々が生き残る手法は、この「提案型技術営業」を実践するほかにないということにもうそろそろ気づくべきであります。電気・通信・設備一式で施工を完遂できる会社に生まれ変わること、初めて、ゼネコンと対等に渡り合える条件が整うかもしれません。我々が機動力を存分に発揮するためには、この三重県の地で経営を営

む仲間同士のネットワークを今以上に強化しなければなりません。我々が住む地元三重の地で、電気工事に携わる我々が未来永劫発展し、成長できるラストチャンスがやってまいりました。それが、「提案型技術営業」であることは言うまでもありません。いまこそ、「行動」あるのみです。みんなの力を今こそ結集させましょう!!

### 関係団体の表彰

つきの方々各関係団体から、晴れの表彰を受けられました。おめでとございました。

平成十六年八月二十五日

平成十六年度電気保安功労者

中部経済産業局長表彰

(電気工事士)

四日市支部 和田 博

平成十六年十月二十七日

三重県中小企業団体中央会会長表彰

(組合優良職員)

本部事務局 田嶋 謙一

# 中部電工連、第29回

## 経営セミナー開催

十月五日・六日の二日間  
にわたり岐阜市「岐阜グランドホテル」において経営セミナーが開催され、三重県工組からは楠理事長始め十名が出席、総勢百余名が出席し、盛大に実施されました。

今回は、一日目からグループ討議を実施しました。テーマは、「魅力ある業界を目指して」、サブテーマに「電気工事の不良率低減を進めよう」とし、五グループに分かれ全員が参加し実施されました。

三重県工組は、楠理事長が全般を把握、岡野副理事長は、第四グループの座長として、また、飯田常任理事が書記として、最後にそれぞれの意見をまとめました。

二日目も前日同様、引き続きグループ討議を実施、

最後に一同に会し、この貴重な意見を明日への糧として、

新たな出発を誓いました。  
なお、セミナー全意見書を各支部事務局で保管しております。  
参考にしていただきたいと思います。  
(総務委員会)



第4グループ討議

### 台風21号・集中豪雨による罹災状況

平成十六年九月二十九日の台風21号・集中豪雨により事務所・住居等、床上浸水の被害を受けられた会員の皆様（津支部4事業所・大台支部1事業所・尾鷲支

部6事業所）へ、三重県工組共済会及び全日電工連互助会から見舞金をおくり、お見舞いいたしました。早期の復旧を祈念申し上げます。

## 第21回電気工事業全国大会開催

十月二十二日、東京「ホテルニューオオタニ」において、来賓・組合員他二、二〇〇余名が出席し、盛大に開催された。

三重県工組からは、楠理事長始め四名、川合青年部会長始め二名が参加しました。

「規制改革に対応した電気工事業界の構造改革」をメインテーマに、青年部意見発表会、シンポジウムにおいてそれぞれ共通の課題について討議、意見を交わしました。

次いで十四時三十分からは、大会式典が行われ、以下の大会決議がされた。  
一、電気工事業界における提案型技術営業構築へ向けて  
二、業界技術認証制度の構築と普及  
三、電気保安分野への新しい取り組み

次いで「中小企業施策の現状と課題」と題して、中小企業庁長官・望月晴文氏による基調講演があり、十八時から懇親パーティーとなり、十九時三十分終了した。



### 人生を振り返って

四日市支部(S8年生)

加藤 幸春

皆様、良き新年をお迎える事と、お慶び申し上げます。

毎日、毎日を忙しく過ごしているので、過去の事を考える事など殆どなかったが、投稿の依頼があったので、自分を見詰めることとなった。すでに古希を過ぎ、五十余年電気工事に携わってきた。今日までつつがなくやって来たのは、皆様のお蔭と感謝しなければならぬ。

学校卒業後、すぐ市内の電気工事会社に入り、専ら大手の四日市工場を担当した。仕事は興味もあり熱心に行なったが、当時、麻雀の全盛期で、工事の関係者にも好きな人がおり、よく誘われた。これが、難物で勝つとご機嫌が良くない。負ければこちらが面白くない上に、金まで取られる事になる。要領の良い人は、適当に負けてやるが、そういう事が出来ない性分で、嫌な目もした。

昭和三十九年に独立してからは、仕事人間で、子供・家庭・会社の会計と皆家内任せであった。言訳がましいが、我々の世代の人は多少の差はあるが、こんな人が多かったのではないかと。しかし、家内には苦勞をかけた。

「人間万事寒翁が馬」良い事があれば悪い事もあるといわれるが、そんなに良い事があったとは思わない

### 「ぼん」六十歳

久居支部(S20年生)

飯田 秀爾

終戦の年、昭和二十年十一月七日、一志郡戸木村大塚(現在の久居市戸木町)にて出生。

戸木にいた時のことは、ほとんど憶えていない。叔母や祖母が「近くのドンド(雲出井生・農業用水)へ洗濯に行く時には、いつも私を連れて行き、紐で私の体を結び、その片方を口にくわえて水遊びさせたも

が、家内を亡くしたのは大きなマイナスであった。生ある者は必ず滅する理であるが、早過ぎたのが無念である。それだけに、今自分が生かされている有難さに感謝し、一日一日を大事に過ごさねばと思う。

変化の激しい時代で、なかなかついて行きかねるが生涯現役、頑張って少しでも皆様のお役に立つよう心掛けて行くつもりです。

のだ」と、里の年忌の度に聞かされる。

幼稚園の前に自宅があり、園の窓から家を見ると、妹が何かを手に、口をうごかしているのが見える、園舎の鍵をはずし、一目散で道路をよこぎり、「今、なにか食べとったやろ……」あきれんやら困るやら、母に手を引っぱられ幼稚園に連れ戻される。記憶に残っているのは、こんな寺町に住んでいたとき以降のことである。両親・二人の姉・妹一人

の六人家族であるが、どういうわけか、いつも食事時には、もつとにぎやかで大勢の人がいたようだ。

そのときいた人の顔がどういうわけか今でもおぼろげながら、浮かんでくることがある。

ズーッとあとで知ったのだが、従業員のほかにも、遠方より単身赴任の電力会社の社員、警察官の人たちが下宿していたそうだ。

大勢でマジャンをする時や、早めの夕食を終え映画を見に行く時など、男兄弟がいまいせいか、父はいつも意識してそのなかに私をいれていた。

そのせいかまわりからは、「ぼん」と呼ばれ可愛がってもらっていたが、マジャンの景品にする饅頭や茶菓子、タバコの買い出しはいつも私の役割であった。

その後、住まいも手狭であったせいか、同じ寺町に新築し引っ越した。

そんなある日、「お前の(8面へつづく)

(7面よりつづく)

家にアカがようけ有るやろ  
だーれも見つからんように  
持って来いさ、そしたらお  
前もまいたるで」

《お前の家に銅線が沢山あ  
る、誰にも見つからないよ  
うに持ってきたら、仲間に  
いれて遊んでやる》

と言われ遊んで欲しい一心  
で、最初はクズ線であった  
と思うが二・三巻、しだいに  
慣れてくると一握り、しま  
いには片手では握りきれ  
ない程、せっせと運んでき  
た。

上級生にはかなわない、  
ケン(めんこ)やミリン(ピー  
玉)をするたびに、日が暮  
れ帰る頃にはいつも全部負  
けて取り上げられたのだが、  
アカの効が奏しているのか、  
「ええの持っけてけ」と私に  
だけは返してくれた。

ケンやミリンを入れるの  
に「勉強するから机を買っ  
てくれ」と、おだったもの  
だが、「勉強どころか宿題  
もしないで、毎日学校で立  
たされているくせに」と、

すぐウソは見抜かれた。

従って、二人の姉の机の  
間の隙間が私の唯一の城で  
あった。

この城の菓子箱には、ケ  
ンやミリンがいつも一杯つ  
まっていた、すこし厚めの  
ケンや珍しい色や中に模様  
の入ったミリンは、何にも  
変えがたい大事な宝物。

これを毎日、朝晩数えた  
り並べたり、そしてその日使  
うのをポケットに入れて遊  
びに出るのが日課であった。  
電線が少しずつ無くなっ  
ていることに、父が気づか  
ないわけがない。

ある日のこと、「倉庫に  
置いてある物は、うちの宝  
なんや、お前の着ている服  
や今履いているクツ、仕事  
に來ている人の生活もみん  
なこれにかかっとなのや」  
と言われた時には、一言も  
返しようがなかった。

その日のうちに、ケンは  
五右衛門風呂の炊口の中に、  
ミリンは裏の池の中に全て  
捨てた。

今、倉庫の中には、人に

見られたら笑われるような

古い材料や工具が、ところ  
狭しと並んでいるのは、こ  
の時の父の教えのせいとか、  
西年の取り根性のせいとか。

先日、このガラクタの  
中から古いガラスのセード  
を見つけた知人が、「ぜひ  
譲ってくれ、十五万でどう  
や」と言った時は驚いた。

親父の残していったものだ  
と思うと、なぜか愛着心が

### 今年も「再創業」!!

津支部(S44年生)

楠 幸治

新年あけましておめでと  
うございます。会員の皆様  
方には、益々御健勝のこと  
とお喜び申し上げます。

さて、昨年度は、一部の  
産業が好調であったものの、  
依然として我々電気工事業  
界を取り巻く環境は厳しい  
と言わざるを得ません。市  
場規模が縮小している状況  
ですから、既存事業だけで  
存続することは難しい。

そこで、「経営革新」や

湧いてきて、「いくら積ん  
でもうても手放せやんわ、  
親父のカタミやでな」と、  
笑って断った。

少しの暇をみては、倉庫  
の棚を動かしたり、古い物  
をながめたり、いつまでたっ  
ても《ぼん》から抜け出せ  
ません。

こんな《ぼん》ですが、  
本年もよろしくお願いしま  
す。

「第二創業」の必然性が問  
われる訳であり、確かに重  
要ではあるものの、私はど  
ちらかというところ、その前段  
階の「再創業」が常に重要  
であると考えております。

私にとつての「再創業」  
とは、「当たり前のことを、  
きちんと継続して実行す  
る」「当たり前のことが、現  
在でも本当に当たり前か判  
断する」この二点を実践でき  
る体制づくりだと考えます。

まず、「当たり前のこと  
を、きちんと継続して実行  
する」簡単そうに見えて、  
究極に難しいテーマです。

このことが実践できている  
スポーツ選手の代表が「イ  
チロー」です。「グローブ  
やバットを必ず手入れする」  
ことが、どんな状況下にお  
いても、一日たりとも欠か  
さず実践されている。これ  
は本当に凄いことだと思  
います。非常に些細なこと  
積み重ねますが、この些細  
なことが実践できる「イチ  
ロー」だからこそ、どのよ  
うな状況においても最高の  
コンディションを維持し、  
進化し続けることができる  
のでしょうか。我々も、イチ  
ロー選手を見習い、安全・  
品質・顧客満足の面にお  
いて、当たり前のことを、き  
ちんと継続して実行してい  
く所存です。

次に、「当たり前のこと  
が、現在でも本当に当たり  
前か判断する」ですが、  
「当たり前のこと」という  
のは、過去の経験則やノウ  
ハウから導き出されていま  
す。それ故に、現状にマッ  
チしない「当たり前」によ  
(8面へつづく)



(8面よりつづく)

り、かえって発展の妨げとなっていて箇所があれば、早急に対処する必要があると思います。これも簡単そうに見えて実に難しい。「当たり前」であることを変更するというのは、過去からの慣習を変えていくから。無論、過去から将来にわたって普遍であり「当たり前」も存在するので、これは、先述のように、きちんと継続して実行しなければなりません。まだまだ厳しい状況は続きますが、私はこの「再創業」を今年も追求し、時流に乗っていきたいと思います。

### 夢

上野支部(S44年生)

谷 高志

西暦2005年、新しい年を迎え、お慶び申し上げます。

私が、電気工事士になりたいと思っただけは、小さいころ、親父の車に乗せてもらっていると、この家の電気は、自分が工事をした」と言ったときの誇らしげで、カッコ良かった姿を見て、いつか、親父のように、自分の仕事を誇れるようになりたいと思っただけでした。

私が電気工事士になって、17年がたちました。

毎日、お客様に喜んでいただけるようにと、一生懸命、頑張っていますが、まだまだ、勉強不足だと、感じることも多く、新しい技術、資格にも挑戦していきたいと考えています。

電気工事業という仕事は、お客様に、仕事をさせてもらい、お金を払っていただ

き、ありがとうとお礼まで言ってもらえる、すばらしい仕事だと思っています。

私の17年間は、お客様、電気工事組合の先輩方、仲間にご指導いただき、助けられてきました。

いつも、おかげさまでという気持ちで忘れず、一日一日を大切に仕事に信念を持って、頑張っていきたいと思っています。

### 新年を迎えて

尾鷲支部(S44年生)

Y・N

新年明けましておめでとうございます。

年女を迎えてと言いつても毎日、何の代わりも無く同じ事の繰り返しのような気がします。

昨年は、災害が多く私達の隣の海山町でも水害にみまわれ多くの人たちが被災されました。あとかたづけのお手伝いに行きました。が悲惨な状況を目の当たりにして、もとの町にもどるのにどれくらいかかるのだ

ろうと、やりきれない思いでいっぱいになりました。

お店などは再営業したりして、少しずつでも復旧しています。元通りになるには、まだまだかかると思っています。

海山町の水害や新潟県地震以降いつ来るか分からない東南海地震に備えて我が家でも防災意識にめざめ、たんすを固定したりヘルメットや持ち出し袋を用意したりしました。

用意した物を使わずにむように今年はいい年になることを願っています。

### 人と人の交流を大事に

鳥羽支部(S44年生)

山本 耕生

新年あけましておめでとうございます。

若輩者がこのような機会をいただき、申し訳ないような恥ずかしいような気がしております。機会を与えてくださいました支部長様(父)に執筆料をいただきたいと思います。(笑)

さてテーマ「はばたけ年男」とありますが、現在のところ仕事を頂きながら積極的に地域にかかわる活動をしております。まちづく

り、祭りへの参加、異業種交流、商店会等、様々な人と出会い自分の知恵を養うため、地域活性化の為に

(お手伝い程度ですが)またネットワークを広げたいとの思いと自分をPRする場としてもとらえて、時には家族として参加させてもらい、地道ではありますが、いつか実となることを心に留めて日々を送らせていただいております。

電気業界におきましてはあらゆる業界においてもそうですが、変化、進化の速さは目をみはるものがあります。それに加えて自由競争の激化、規制緩和も手伝っています。厳しい状況になっていると考えています。

これをチャンスと捉えて最大限に活かせるもの、最小限に留めるもの、何を自分

(10面へつづく)

(9面よりつづく)

は活かせるか、自分は何にこだわるか、どこを強化するべきか等毎日考えています。

仕事中に発見したり、地域活動に参加することで発見したりすることもあります。

それが商談で活かせたり、工事の中で活かせると自分で納得のいく、満足のいく仕事ができ、さらにお客様

に「ありがとうございます」と言われるとうれしくなっています。最終的にお客様が満足してくれるのが何よりの報酬です。

とりとめのない話になってしまいました。やはり人と人の交流を大事にしていきたいと考えます。反対意見も大切な財産になると考えます。

これからも活かせる知識(活職)を意識しながら、はばたけるように頑張りたいと思います。

最後になりましたが皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

「ご安全に!!」

## 「川釣り」に思う

桑名支部 (S29年生)

### 三上 忠彦

四八歳の年男の折に執筆させていただいてから3年が過ぎた、年を重ねる毎に毎年友人や、お世話になった人が逝ってしまう、私もそんな年齢にいつの間にかなってしまった。

昨年、釣り好きの元同僚が他界した。毎週の様に行き「釣りをしていると、何も考えず「させる」と言っていたのを思い出す。帰りに獲物を置いていってくれたものだった。

今年は仕事仲間が不慮の事故で亡くなった。仕事が忙しくなると応援をお願いした人である。2人とも酒が好きだったが、久しく杯を交えることが無かった事を、今になって悔んでいる。皆それぞれ、自分の趣味や落ち着ける居場所を持って

いるものである。私にも「ふらり」と出掛ける安らぎの場所がある。

私は川釣り派で、三月から

九月末まで暇が出来る。何処かの川に向く。三月は路の蕾、四月はコゴミ、五月はワラビ・タラの芽など

を採り、釣りは二月から始まるが、サビが抜ける四月頃から、天然物に拘って、各河川毎に魚の姿も変わる。鈴鹿山系もよく行くフィールドのひとつで、

三重県側は急峻であるが、1時間程歩き山を越えると滋賀県側に入る。滋賀県側は穏かな地形の下り道となり、30分程下ると愛知川の清らかな流れに辿り着く、

足元を流れる水をすくい採り喉を潤す。愛知川はバックパックにテント、シュラフ、食料を詰込み誰もいない河原で、一人でキャンプをすることもしばしばである。噂によると、武者の幽霊が出るらしいが、熟睡しているせい、未だお目にかかったことはない。

今年には災害の多い年でもあった「ふらり」と出掛ける行きつけの宮川の食堂も

存亡の危機に見舞われている。遠くで起きた災害が身近に感じられた事は、今日までなかったことである。

その店は、大杉谷の中瀬にあり、同名の屋号で、天然の食材に拘り常連客も多い。同業の友人に誘われ、

通い出してもう20年来の馴染の店である。建物の北側は直ぐ川で、川に張り出して棧敷が設けてあり盛夏の頃は川風が心地良い、そこに寝転び釣人や、水辺で遊ぶカップル、河原で焼肉をする若者、苔を食む鮎のナイフのような輝きや川面の輝きを見ながらぼんやりしているのが好きだった。

だが、台風21号のもたらした豪雨により宮川村は近年希な惨事となり、中瀬も甚大な被害を被ることとなった、川の水位の上昇で駐車場は崩れ、棧敷も流され、停電が続いた為食材も腐り、営業が出来ず困っている事を、見舞いに行った友人から聞いて心を痛めている。

災害救助法が適用され道

路は直るであろうが、小さな食堂などは、暮らして困るだろう、林業は衰退し、近年、観光に力を注いでいた村だけに残念である。亡くなった方々の合同お別れ葬も終り、復旧の第一歩を歩み始めた。近くに行かれた際は、是非立ち寄り励ましていただきたい。早期の復興を切に願っている。

《宮川は大台ヶ原を源に、伊勢市で伊勢湾に注ぐ。中、上流部は無粋な護岸もなく、昔作らの川の風景を留めていて、子供の頃遊んだ原風景が広がっている。大杉谷は、その昔、杉の原木が生い茂っていたことに由来し、

伐採を免れた大杉が今も保護され祭られている。宮川貯水池(宮川ダム)のジェット船の船着場からキャンプ場に向かうとキャンプ場に、巨木が聳えている。車でも簡単に行ける。春には宮川貯水池周辺と三瀬谷ダムで桜祭りがあり、宮川ダムではジェット船が運航す

(11面へつづく)

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部名	種別	コード番号	事業所名	代表者	郵便番号	住所	電話番号	登録届出番号
津	退会	31084	袖岡電気商会	袖岡宏行	514-2221	津市高野尾町3351-145	059-230-1710	14-133
津	退会	31083	㈱西浦産業	西浦建樹	514-0835	津市幸町27-35	059-225-5888	届出 87-4
津	退会	31029	吉田電器商会	吉田捨吉	514-0101	津市白塚町5300-8	059-232-3244	届出 51-109
津	退会	31013	㈱エスミック	鈴木理夫	514-0804	津市上弁財町津興3267	059-225-4444	届出 86-15
四日市	退会	34050	野口電機工事	野口 巖	510-1233	三重郡菟野町大字菟野7167	0595-93-1746	13-28
名張(梁)	退会	31590	㈱トーエネック 名張営業所	山本幸一	518-0752	名張市蔵持町原出522-15	0595-63-1208	(届)大臣 4665
上野	承継加入	31448	中矢電気商会	中矢孝春	518-0839	伊賀市上野田端町983	0595-21-3095	16-119
松阪	承継加入	32016	大淀電気商会	土屋理旦	515-0302	多気郡明和町大淀2856-14	0596-55-2175	届出 04-13
亀山	承継加入	34919	㈱双葉電機工業所	三須修一	519-0105	亀山市みずほ台14-301	0595-83-1122	13-207
伊勢	承継加入	33172	㈱サムテック	西山元弘	516-1309	度会郡南島町東宮3195番地	0596-72-2453	13-256
上野	承継加入	31441	㈱山下デンキ	山下育男	518-0836	伊賀市緑ヶ丘本町1639-1	0595-21-6339	13-263
志摩	変更	33412	浜中電気商会	浜中雄也	517-0203	志摩市磯部町山田258	0599-55-0211	13-62
四日市	変更	34130	佐藤設備工業㈱	佐藤秀樹	510-1226	三重郡菟野町大字吉沢440	0593-93-4661	届出 90-24
伊勢	変更	33081	㈱アイ・エム電化	広田正道	516-0028	伊勢市中村町607番地の51	0596-22-9132	13-123
員弁	変更	34629	田代でんき	田代昌哉	511-0205	いなべ市員弁町笠田新田543	090-5864-3231	15-166

事務職員紹介

・八月二十一日付  
松阪支部事務局職員

伊藤 朱美

不慣れなためご迷惑をおかけするかと思いますが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

(10面よりつづく)  
る。六月はホタルの里公園でホタル鑑賞、十五日には鮎が解禁となり、友釣りやアマゴ(地元ではあめこと言う)釣り、夏はキャンプ、秋は紅葉で賑わう

訃報

つぎの方が、不幸にして物故されました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。  
・16・10・25  
四日市支部  
㈱加藤電気商会  
加藤 照子(77才)

=安全推進運動標語=

- 元気よく 安全呼称で 無災害
- 習慣が わが身を守り 家族も守る
- 慣れたころ 基本にもどり 安全作業

## 第1種電気工事士定期講習について

- 第1種電気工事士定期講習のご案内（講習申込書が在中）が受講日の約4ヶ月前に「独立行政法人製品評価技術基盤機構」から受講対象者宛に送付されますので内容をご確認のうえ、下記事項を必ず実施して、同封の封筒により講習申込書を早めに提出して下さい。
  - 所要事項を記入する。
  - 受講料を同封の振込用紙により振込み、郵便振替払込受付証明書（お客様用）を講習申込書に貼付する。
  - 写真を貼付する。
  - 資料にて「講習申込書提出先」と赤字で書かれた箇所を確認し、提出する。
- 住所変更及び改名等された方は、速やかに各支部事務局経由、本部事務局までご連絡をお願いします。
- 三重県内での受講受付は、三重県電気工事業工業組合及び㈱日本電気協会中部電気協会が担当します。なお、講習会場は、いずれも「三重電気会館」となります。
- 平成17年の三重県内講習予定

講習月日	申込書提出先	講習会場	備考
1月12日(水)	三重県電気工事業 工業組合	三重電気会館	1)問い合わせ ・三重県電気工事業工業組合 TEL 059-226-4862 ・㈱日本電気協会中部電気協会 TEL 052-252-5019  2)講習当日、会場で弁当を販売します。 (価格500円～600円程度)
2月2日(水)			
2月16日(水)			
3月6日(日)			
3月16日(水)			
4月6日(水)			
4月13日(水)	㈱日本電気協会 中部電気協会		
5月13日(金)			
5月22日(日)			
6月29日(水)			
7月6日(水)			
8月25日(木)	㈱日本電気協会中部電気協会		
9月7日(水)	三重県電気工事業工業組合		
11月22日(火)	㈱日本電気協会中部電気協会		

### お問い合わせ先

三重県電気工事業工業組合  
事務局  
TEL 059-226-4862  
FAX 059-226-4869  
E-mail miedkuni@ztv.ne.jp

事故による保険金の支払いは、保険会社の資金ではなく、皆様方の掛け金の中から支払われています。

なくそう  
誤結線

厚生委員会